

～距離はあっても
劣らぬ熱意で～

教員免許状更新講習

～令和3年度 8講座を開催～

8月16日(月)～20日(金)、現職の先生方を対象とした「教員免許状更新講習」を新型コロナウイルス防止対策を十分講じた上で開催しました。

宇都宮シティキャンパス及び長坂キャンパスにおいて、必修・選択必修・選択の3領域にわたる8科目を開設し、約600名の先生方が受講されました。

受講者からは、「国の教育政策や、現場の課題がよくわかった」、「最新の知識や技能について学ぶことができた」などの声が寄せられました。

三密回避により距離はあっても、講師の熱意と受講された先生方の集中力は例年に劣らないものでした。



入学者選抜の基本方針

●本学のアドミッション・ポリシーに基づき、「学力の三要素」を多面的・総合的に評価します。

入試区分	「学力の三要素」の評価方法		
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等	③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
総合型選抜	提出課題・調査書・口頭試問・プレゼンテーション(選択者のみ)	提出課題・口頭試問・面接	面接・調査書・活動報告書(任意)
学校推薦型選抜(指定校制)	口頭試問・調査書	口頭試問・面接	面接・調査書・活動報告書(任意) 学校長等推薦書
学校推薦型選抜(公募制)	小論文・口頭試問・調査書	小論文・口頭試問・面接	面接・調査書・活動報告書(任意) 学校長等推薦書または自己推薦書
特待生入試	筆記試験・調査書	筆記試験・面接	面接・調査書・活動報告書(任意)
一般選抜Ⅰ期・Ⅱ期	筆記試験・調査書・プレゼンテーション(選択者のみ)	筆記試験・面接またはプレゼンテーション	面接・調査書・活動報告書(任意)
共通テスト利用入試Ⅰ期・Ⅱ期	筆記試験・調査書	筆記試験	調査書・活動報告書(任意)

宇都宮共和大学HP 入試のご案内

入試概要はこちらから



【面接】志望動機や「調査書」記載内容を中心に質問し、②と③についての評価を行います。

【口頭試問】基礎学力や一般常識問題等を中心に質問し、①と②についての評価を行います。

【小論文・提出課題・プレゼンテーション】自らの考えを事実や根拠に基づいて記述・発表したものに対して、①と②についての評価を行います。

【筆記試験】必須・選択科目の試験を行い、①と②についての評価を行います。

【調査書】記載内容に対して、①と③についての評価を行います。

【学校長等推薦書・自己推薦書・活動報告書(任意)】記載内容に対して、③についての評価を行います。

※新型コロナウイルス感染予防のため、中止・延期となった大会や資格・検定試験等に参加できず、その結果を記載できない場合は、その間の成果獲得に向けた努力のプロセスを記載してください。

2022年度共通テスト利用入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）の入学検定料を免除します

コロナ禍における受験生への支援策として、今年度に限り、共通テスト利用入学試験(Ⅰ期・Ⅱ期)の**入学検定料15,000円を免除**します。共通テストは受験生の居住地域で受験可能なため、共通テスト利用入学試験を受験することにより、移動による感染リスクだけでなく、交通費や宿泊費など受験に関わるご家庭の経済的負担を軽減することができます。

シティライフ学部

★とちぎ子どもの未来創造大学

8月7日(土)に、栃木県生涯学習課の事業である「とちぎ子どもの未来創造大学」の講座として「Stone Craft～オリジナル大谷石グッズを作ろう～」を、本学宇都宮シティキャンパスで開催しました。

この講座では、県内の小学4年生から6年生を対象に、大谷石を使ったコースターやマグネットの制作体験を通じて、大谷石の性質や歴史について学ぶことを狙いとしています。

16組32名の親子にお越しいただき、まず本学教員から大谷石の歴史や性質についてクイズ形式で学んだ後、大谷石の工作キットの開発に取り組んでいる3年西山ゼミの学生から大谷石のコースターとマグネットの制作手順の説明を受けました。

参加者は、思い思いに大谷石に絵の具やシールで模様を描いたり、磁石を取りつけたりしました。



▲学生の指導で大谷石グッズを制作する親子

★田川の景観改善イベントを実施

シティライフ学部では、7月18日(日)に、地域社会実習Ⅰの授業の一環で、宇都宮市中心部を流れる田川沿いの遊歩道に堆積した砂を撤去する実習を行いました。この企画は、宇都宮市創造都市研究センターに所属する学生グループ(アントレプレナー研究グループ)が現在研究している田川の活性化の活動の一環でもあります。5つの班に分かれ、遊歩道に堆積した砂を、スコップと土のう袋を用いて撤去していきました。開始から1時間足らずで砂が入った土のうが600袋にも達しました。周辺地域の自治会などから温かいご協力を賜りました。



★シティライフ学シンポジウム

2月9日(火)に、「栃木県におけるMICE未来都市の創造戦略一産官学民によるDMOの具体的な運営を考える」シンポジウムが宇都宮シティキャンパスにて、宇都宮まちづくり推進機構との共催により開催されました。

株式会社JTB総合研究所主席研究員 山下真輝氏から「MICE誘致のためのDMOの役割と都市戦略」、株式会社DMC沖縄代表取締役社長・株式会社DMC Greater Yokohama代表取締役社長 徳田博之氏から「地域に根差したMICEビジネス開発のエンジンDMC / DMO～MICE先進地の事例に学ぶ～」についてそれぞれご講演いただきました。

続いて、宇都宮市副市長 鎌田秀一氏から「JR宇都宮駅東口地区整備事業とMICE誘致に係る取組について」、また株式会社コンベックス代表取締役専務 西川洋子氏から「宇都宮駅東口交流拠点施設 施設概要・誘致体制およびDMOとの連携」と題し、それぞれの取り組みをご説明いただきました。

その後、栃木県経済同友会筆頭代表理事 中津正修氏、宇都宮商工会議所議員 吉田元氏をお迎えし、「MICE都市間競争に打ち勝つ本県のDMOとは」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



THE AKAMATSU

知識の森 vol. 51 通信

http://www.kyowa-u.ac.jp

編集：宇都宮共和大学入試広報委員会

発行：宇都宮共和大学

UTSUNOMIYA KYOWA UNIV.

宇都宮共和大学

宇都宮シティキャンパス
長坂キャンパス
那須キャンパス

〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り1-3-18
〒321-0346 栃木県宇都宮市下荒計町長坂3829
〒329-3121 栃木県那須塩原市鹿野崎131

TEL.028-650-6611
TEL.028-649-0511
TEL.0287-67-3111

2学部共通

★オープンキャンパス開催

子ども生活学部



長坂キャンパス子ども生活学部では、「大切な進路選択の一助となるように、安心・安全にオープンキャンパスを開催して本学を体感していただく」ため、オンライン型・来校型を併用してオープンキャンパスを行っています。

来校型オープンキャンパスは、みなさまにマスク着用、検温・消毒などのご協力をいただき、子ども生活学部における学びや学生生活の様子をリアルに感じていただきました。ソーシャル・ディスタンスの確保や十分な換気の下、大ホールでの「ウェルカム・ダンス」からスタート。大教室での「模擬授業」や在学生による「体験コーナー」や「キャンパス・ツアー」「在学生と話をしよう」などを実施しました。

桂木奈巳先生の模擬授業「自然を身近に～はっぱのたたき染め～」では、実際に木槌で藍のはっぱをたたいて布に移す体験をしました。藍の葉の葉脈まで美しく移り、世界に1つのオリジナルの小物入れが出来上がりました。

また、体験コーナーでは、感染症対策を踏まえ、「にじ」の歌を来校者のみなさまと在学生と一緒に手話歌で楽しみました。杉本太平先生のギターにあわせて手話のフリを合わせると、会場はあたたかな一体感に包まれました。

オンライン型オープンキャンパスでは、HPに多様なコンテンツを掲載。学部の概要、授業や学生生活の様子、在学生の声など、本学の様子を身近に感じることができるよう構成しています。

毎週土曜日には予約制による「キャンパス見学会」を開催中です。参加方法をお選びいただけるよう工夫しながら、みなさまをお待ちしております。



▲「にじ」を手話歌で



▲模擬授業
「自然を身近に～はっぱのたたき染め～」

子ども生活学部

★5月8日(土)「親子遊びの会」を開催

5月8日(土)に本学グラウンドで親子遊びの会を開催しました。

「ミニミニ・アスレチック」というテーマで、子どもたちは芝生の上で、巧技台やフラフープなど思いおもいに好きな遊びを楽しみました。「ぞうくんのさんぽ」や「ぐりとぐら」の大型絵本の読み聞かせにきづけになっている間に、保護者の皆様と教員が子育てについて語りました。保護者の方には、「コロナ禍でも安心してのびのび遊べる機会がうれしい」と喜んでいただきました。



▲ミニミニ・アスレチック



▲大型絵本の読み聞かせ

この取り組みは、日本私立大学協会の教育学術新聞でもご紹介いただきました。これからも本学では、親子遊びの場づくりを地域の皆様と一緒に実施してまいります。

★コロナ感染防止対策下の諸活動

学生・教員は、感染対策を徹底させながら、少人数のグループで地域へ出かけていき、それぞれの専門分野を活かして地域の子どもたちや親子と触れ合う活動を継続しています。

1 宇都宮市環境学習センターで行われた本学講師による自然体験教室(7/31)において、昆虫採集や葉っぱを利用した虫づくりなどを幼児から小学生が体験しました。「自然遊びの会バーベナ」の学生たちが参加し、子どもたちの支援を行いました。

2 地域の企業(栃木トヨタ自動車)と連携して行われた本学講師による親子リトミックワークショップ(7/25)。「海に行こう!」をテーマに音楽に合わせて親子で身体を動かし、ワークの後に保護者向けに「リトミックが育むもの」をテーマにミニ講座を行いました。親子遊びの会の学生が子どもたちに絵本の読み聞かせや創作活動行い、交流を深めました。



トヨタ親子リトミック▶

3 栃木県大学地域連携活動支援事業として、「認定みどりこども園」にて8/2から5日間にわたり、園児と学生との交流が行われました。お花紙を利用した色水作りなど、少しずつ発展させる遊びを通して、学生は子どもたちの様々な関りを経験しました。



▲大学地域連携活動支援事業

どの活動においても、マスク着用、2週間前からの検温記録、使用品の消毒、参加者同士が接触する機会を減らすなどの感染対策を実施しています。

